

令和2年度 小田小学校「豊かな心の育成」推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○子ども・保護者・地域住民から信頼され、子ども一人ひとりの今と未来にハピネスを提供する教職員集団「チーム小田」を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たち「チーム小田」は子ども一人ひとりを徹底的に大切にし、安心、安全で信頼される学校づくりに努めています。 ・私たち「チーム小田」は校内の研究、研修の活性化を図り、わかる楽しい授業を提供する学校づくりに努めています。 ・私たち「チーム小田」は子どもたちの心の育ちを支援する学校づくりに努めています。 ・私たち「チーム小田」は学校内外との協働を大切にしています。 ・私たち「チーム小田」は社会とのかかわりを大切にしています。 ・私たち「チーム小田」は自らの資質と力量を高めるために学び、子どもたちと共に育つ「共育」を大切にしています。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>豊かな心</p> <p>人との関わりを大切に して、思いやりの心と 自尊感情を育て、自分や 相手を大切にする心を 育てる。</p> <p>担当：児童指導部</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態をもとに、道徳科の授業や人権教育を大切にして、全学級道徳科授業公開を年1回実施し懇談会等で話題にする。 指針1「道徳科の授業の充実」 ・たてわりふれあい活動や委員会活動の取組を充実させ、異学年交流の日常化を図る。1・6年の交流が日常化されつつあるので、他学年の交流も広がるように機会を増やす。KCS や学援隊などの地域の方々と交流し、感謝の気持ちをもてるようにする。指針2「体験活動の充実」

2 児童の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

本校の児童は、落ち着いて学習に取り組み、協力して活動に参加できている子が多い。素直な子どもが多い一方、自分から元気にあいさつできる子どもが少ない。そのため、道徳的な価値については理解していても行動に表わせないことも多い。もっと自分に自信がもてるように、いろいろな「人」や「もの・こと」とかかわることでコミュニケーション力を伸ばし、積極的に行動できるようになってほしい。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1「道徳科の授業の充実」 指針3「確かな人権感覚・意識の育成」

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育（いじめやLGBT、ネットトラブルなども含め）と、各学級の道徳科の授業との関連を図り、豊かな体験を生かし指導を行う。保護者に向けて全学級が年一回は道徳科の授業公開をし、懇談会で授業について話をして家庭との共通理解を図る。
- ・児童会活動の「ユニセフ活動」を通して、世界に目を向け自分たちにできることを見つけられるよう主体的な取り組みを進めていく。

指針2「体験活動の充実」

- ・6年生がリーダーとなりたてわり活動を行うことで、最高学年としての意識、グループ内での互いを思いやる気持ち、協力しようとする気持ちを育てる。
- ・学びを見通したうえでの活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化にふれる「**集団宿泊体験**」を充実させる。
- ・前期の生活目標を「あいさつをしよう」と1つにしぼり、朝会を通じて、各学年での取り組みを全校に伝えていく。その中で、学援隊や学習活動でお世話になった KCS の方に感謝の気持ちを伝えられるようにする。